

<備前北大窯跡・天保窯拠点地区>

区分	名称	内容
遺構整備施設	窯跡半立体的表示施設	3基の窯跡の遺存する遺構面に必要な厚さの盛土等を行い遺構を保護した後、遺構直上に往時の窯の規模や形状等が理解できるような低木植栽等によって半立体的表示施設としての整備を図る。
	物原表示施設	物原の分布範囲等を適切な整備手法を用い平面的表示施設としての整備を図る。
	天保窯遺構露出展示施設	現在老朽化が進んでいる天保窯の化学的保存処理、修復を行い、また覆屋を改修し、遺構の露出展示施設としての再整備を図る。
学習施設	案内板・説明板	既設の案内板・説明板の改修や整備された各窯跡に説明板を設置する。
園路・広場施設	入口広場	北大窯跡と天保窯の間に位置する平坦面に広場を整備する。
	見学路	整備された窯跡等が見学ができるよう園路の整備を図る。また、北大窯跡と宮山展望台とを結ぶ園路を改修する。適所に階段を設置する。
休養施設	宮山展望台	天津神社裏手に位置する宮山展望台の改修整備を図る。
サイン施設	四阿	入口広場の適所に設置する。
安全管理施設	道標	適所に設置する。
	転落防止施設	北大窯跡から宮山展望台へと至る園路に、転落防止用の生垣か、もしくは柵を設ける。
修景施設	植栽	遮蔽植栽、景観木、緑陰樹等を適所に植栽する。

